

公園内で見られる植物

写真は8月25日(土)
自然観察会で見られた
植物です



ツルリンドウ (リンドウ科)

長さ40～80㍍になるつる性の多年草。 花期：8～10月



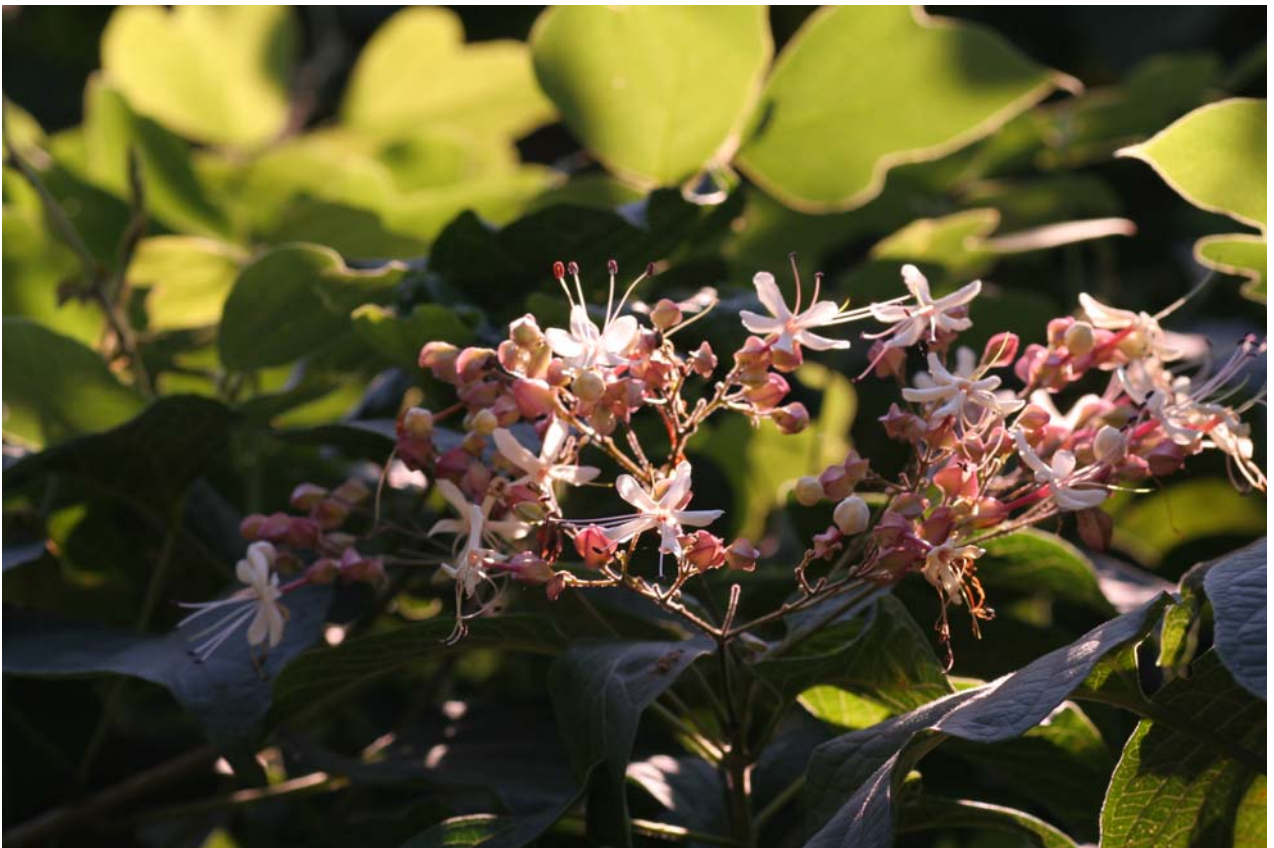
タラノキ (ウコギ科)

花：雌雄同株。8～9月上旬、幹の先端に長さ30～50㍍の大きな複散形花序をだし、淡緑白色の小さな花を多数つける



ハギの仲間（マメ科）

ハギの仲間は葉が3出複葉。ハギは秋の七草のひとつです。



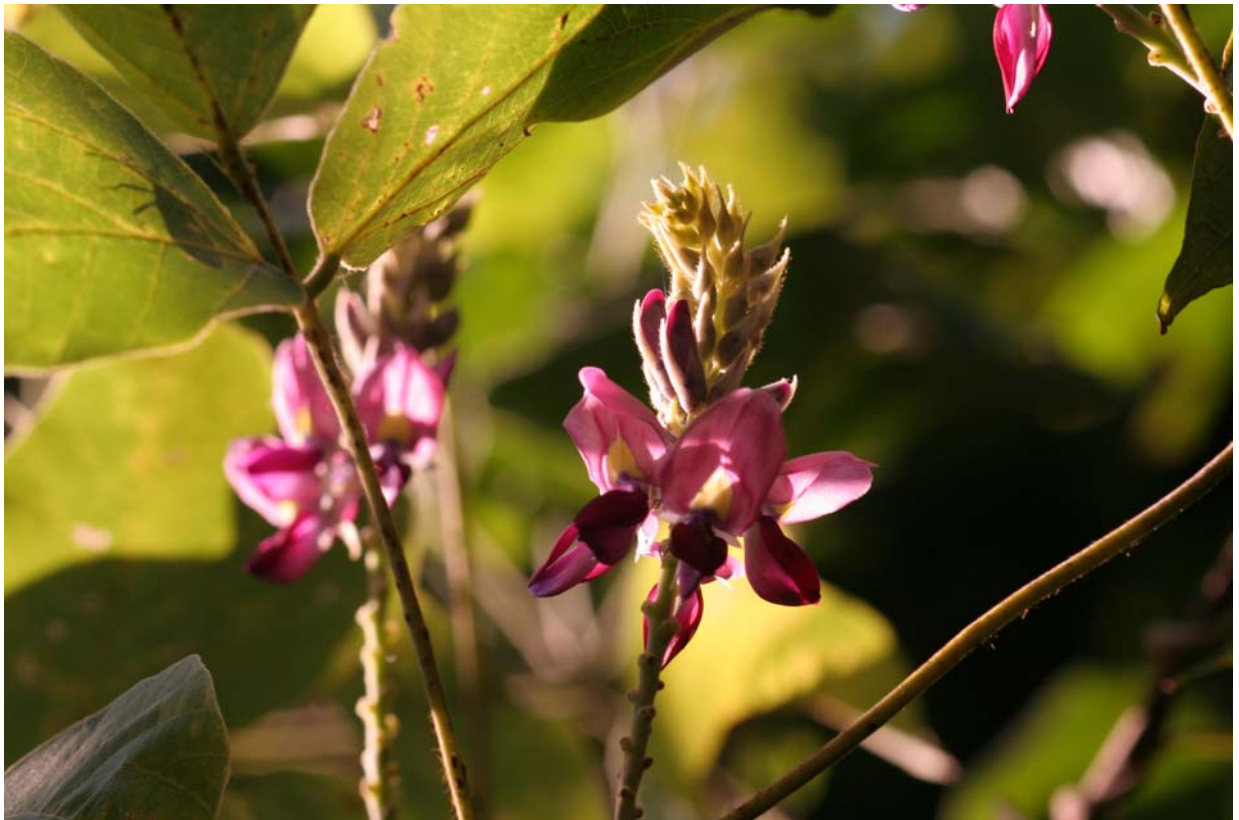
クサギ（クマツヅラ科）

7月下旬～9月、枝先や上部の葉腋から集散花序をだし、芳香のある花を多数つける。
花冠は5裂し、裂片は白色で1.1～1.3 釐の広線形。花筒は紅紫色で細い。



ツリガネニンジン (キキョウ科)

花期 8月～10月。1個～数個の花が輪生してやや下向きにつく。
鐘形の花冠は淡紫色または白色で、長さ1.5～2㍍。先は5裂してやや広がる。



クズ (マメ科)

花期は7月～9月。根からとったでんぷんが葛粉で、根を乾燥したものの風邪薬の葛根湯に用いる。茎からとった繊維で織った布を葛布という。秋の七草のひとつです。



イヌザンショ (ミカン科)

花／雌雄別株。7月～8月、枝先に長さ3～8㍎の散房花序をだし、黄緑色の小さな花を密につける。



ヌルデ (ウルシ科)

花／雌雄別株。8月～9月、白色の小さな花を円錐状に多数つける。花序は長さ15～30㍎、花序の軸には淡褐色の毛が密生する。花弁は5個、長さ約2ミリの楕円形。



ヤマノイモ (ヤマノイモ科)

花期は 7月～8月。別名自然薯。葉腋にしばしば珠芽たまご芋がつく。雌雄異株。雄花序は直立し、白色の花をつけ、雌花序は垂れ下がる。果実はまるい扁平な翼が3個ある。



ヌスビトハギ (マメ科)

花期は7月～9月。果実の形を忍び足で歩く盗人の足の形に見立てたというが、異説もある。花は細長い花序にまばらにつき、淡紅色で長さ3～4ミリ。